

第 22 回「自然とふれあおう！わんぱく KIDS」

IN 宇佐美

報 告 書

2023 年 9 月 1 日

主 催

特定非営利活動法人 シンク・イー

目 次

理事長 ご挨拶	>	1
実施概要	>	2
組織・役割 / 会計報告	>	3
5 日間のプログラムのポイント	>	4
5 日間の様子	>	5
5 日間のプログラム	>	6
スタッフ及びリーダー 所感	>	6~7
協賛	>	8



理事長 ご挨拶

日頃より、私どもの活動にご理解・ご協力ありがとうございます。

大規模修繕工事を完了した宇佐美学園に4年ぶりに戻り、「自然とふれあおう！わんぱく KIDS」を無事開催することができました。

関係各位に深く感謝申し上げます。

期間中は台風の影響により強い雨が突然降るなど不安定な天候でしたが、行程変更により裏山散策以外の予定プログラムを実施することができました。行程変更を多々いたしました。リーダー、スタッフが柔軟に対応してくれ大変助かりました。

数名が4日目に発熱し検査の結果インフルエンザでしたので、残念ながらお迎えをお願いいたしました。

例年通り多くの参加応募があり抽選となりましたが、本年は高学年の応募が少なく3,4年生の参加者が多い構成となりました。ボランティアリーダーの大学生は、初参加のリーダーが多くいましたが、リーダーの役割をよく理解し取り組んでくれました。中高生リーダーは、児童からの参加経験を活かしベテランリーダーとして素晴らしい活躍でその成長は理事長としても非常に誇らしく感じております。また、リーダー出身のボランティアスタッフは、4名が現職教員という構成でした。キャンプ体験を通し多くの人材が育っていることを実感できた年となりました。

私どもは、自分の考えを持ち、他者の考えを認め、社会で率先して役割を担うことのできる自立した人々が協力する社会「自立型共生社会」の実現を理念に活動しています。

本キャンプは、自然とのふれあいにより五感を研ぎ、人とのふれあいにより対話力を養うことを目的に実施しています。

地球規模での自然災害の増加や不安定な国際社会など、次の社会を担う子どもたちの環境は厳しいものと思われませんが、自ら道を切り拓き、より良い社会を築き幸せになってほしいと切に願います。

今後とも、ご支援の程よろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人 シンク・イー 理事長 喜多 隆正

実施概要

構成団体 主催 特定非営利活動法人 シンク・イー
後援 中央区教育委員会
特定非営利活動法人 東京中央ネット
協力 中央区立宇佐美学園
公益社団法人 東京青年会議所 中央区委員会
宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会

主催団体 理念 「自立型共生社会の実現」
事業名称 第22回「自然とふれあおう！ わんぱく KIDS」
事業目的 青少年の健全育成・ボランティアリーダーの育成
事業コンセプト 「自分でできることは自分です。できないことは助け合う」

開催日程 2023年8月5日(日)から8月9日(水) 4泊5日
開催拠点 中央区立宇佐美学園とその周辺地域および小田原・湯河原地域

事業概要 子ども：3～6年生男女8名 リーダー：3名
合計11名で1つの班を構成 全8班
班別行動を基本とし、海・山・川などの豊かな自然環境の中で各アクティビティを体験する組織キャンプ

参加者 中央区在住・在籍の児童3～6年生 計63名（応募者数：145名）
ボランティア人員 中高生リーダー 11名
大学生・大学院生 12名
社会人・リーダーOB 5名
NPO 4名
地域の方 2名

問い合わせ先 特定非営利活動法人 シンク・イー
E-MAIL：2023wanpakukids@gmail.com

写真&報告書 DL URL：<http://www.tokyochuo.net/meeting/kids/jigyuu/wanpaku2/index.html>

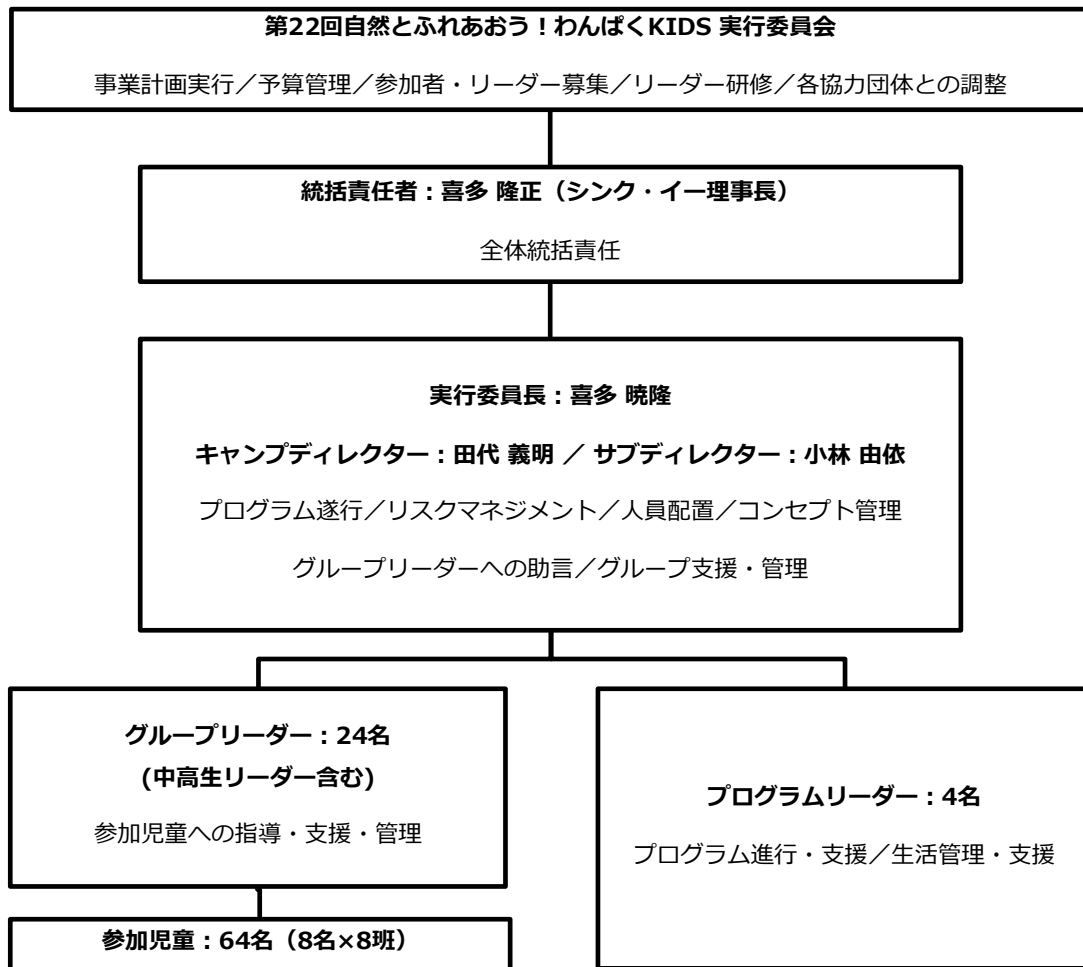
※写真掲載は、NPO 法人東京中央ネットに協力いただいております

(掲載時期：9月下旬頃を予定)

QRコードはこちら



組織・役割



5 日間のプログラムのポイント

■わんぱく KIDS の約束

- 1、自分でできることは自分でしよう！
- 2、ひとりでできないことは助け合おう！
- 3、あいさつをしよう！
- 4、身の回りはきれいにしておこう！
- 5、生き物はたいせつにしよう！
- 6、リーダーになんでも相談しよう！

■方針

生活重視（あいさつ・清掃・整理整頓・履物をそろえる・身体をよく拭いてから浴室を出るなど）

■清掃・整理整頓

毎朝清掃と荷物整理をし、身の回りを自ら正す経験から生活面での自立への気づきを促す

■食事

手をつける前に自分の食事量を考慮し、同じテーブルのお友達とシェアをし、残さないようにする
嫌いなものは目標量を決めて食べる努力をする

■班旗づくり

班のシンボルとなる旗を作り、班員としての意識を高める

■山・川・海での自然体験

都会で出来ない体験により自然への理解を深める
自然での遊びを通じて常にチャレンジをし、成功・失敗体験をする

■野外調理・ひものづくり(食育・食を通した健康や生命に関する教育)

他の生き物の命をもらって生きていることへの気づき
家族をはじめ多くの人たちの労力があって食事ができることへの意識付け

■班別自由プログラムの計画と実施

班ごとに決めたスローガン達成のため、4日目のプログラムを話し合い計画する
自己分析、集団の意思決定、自立への気づき
自己・他者を大切にすることの重要性の認識

■江戸城石丁場遺跡散策

身近な地域からの歴史理解（中央区と宇佐美のつながりなど）

■キャンプファイヤーとふりかえり

全体の一体感と達成感を高め、キャンプの収束とする

5 日間の様子



5 日間の写真はこちらから
(掲載予定：9月下旬)

5 日間のプログラム

	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日
朝	T-CAT集合 (7:30) T-CAT発 トイレ休憩 (予定: 海老名S.A) 湯河原着(幕山公園) 川遊び	起床 朝のつどい (7:00) 朝食 清掃 班別行動 (ローテーション) ・体育館 ・プール ・工作	起床 朝のつどい 朝食 清掃 班別行動 (ローテーション) ・ひものづくり ・発表会準備 ・プール ・食材買い出し	起床 朝のつどい 朝食 清掃 海水浴	起床 朝のつどい 朝食 大掃除 退所式 生命の星・地球博物館見学 自由行動
昼	昼食 (弁当) 宇佐美学園着 入所式 オリエンテーション レクリエーション 入浴 夕食	昼食 (弁当) 班別行動 (ローテーション) 入浴 夕食	昼食 (弁当) 班別行動 (ローテーション) 野外調理 (カレー、炊飯、ひもの調理) 入浴 夕食	昼食 (弁当) 海水浴 入浴 夕食	昼食 (弁当) トイレ休憩 (予定: 海老名S.A) T-CAT着/解散
夜	班の旗作り 消灯 (21:00) リーダーミーティング	宇佐美の歴史・石丁場講演 消灯 リーダーミーティング	消灯 リーダーミーティング	発表会 キャンドルファイヤー 消灯 リーダーミーティング	

スタッフ及びリーダー 所感

<プログラムスタッフ：糀谷航>

今年度プログラムリーダーを担当しました糀谷です。今年は4年ぶりに宇佐美で開催することができ私自身とても嬉しく思います。私は大学1年生からグループリーダーとしてこのキャンプに携わっており、社会人になってからは運営側として活動することとなりました。私がリーダーとして面倒見ていた子供が高校生になり今度はその子がリーダーとしてわんぱく KIDS に参加している、そんな繋がりもまたこのわんぱく KIDS の魅力だと思います。このわんぱく KIDS では「自分でできることは自分です！できないことは助け合う！」をコンセプトに4泊5日の共同生活を送りますが、都会ではできない非日常体験を通してひと回りもふた回りも立派に成長していく子供達の姿を見ると毎年来てよかったなと思うことができます。

さて、今年のわんぱく KIDS は記録的な猛暑や台風の接近などプログラム通りいかないことが多い中でしたが、子供達とグループリーダーの協力のおかげでなんとかやり切ることができました。私自身も「自分でできることは自分です！できないことは助け合う！」を実感することができました。6年生はリーダーとして他の子供達はまた来年宇佐美でかけがえのない思い出を作りましょう！

<グループリーダー：大島菜月 (高校2年) >

新型コロナウイルスが流行してから約3年と半年、去年は山中湖 YMCA での開催でしたが、今年は念願だった宇佐美学園での開催でした。

1日目は天候に恵まれ、久しぶりに川でのアクティビティを行うことができました。子供たちには初日とは思えないほどの親しさを感じました。しかし台風の影響により2日目以降は活動変更が多くありました。ですが、室内レクや工作の時間が多かったからこそ班の子供たち同士はもちろんのこと他の班との交流、会話も多くあり、より協同性を感じられました。また、干物作りは特に自然に感謝することを学び、東京ではできない貴重な体験をすることができました。

「自分のことは自分です。できないことは助け合う」というコンセプトのもと4泊5日間活動していく中で成長する班の子供たちを見て感動する場面が多々ありました。小学校という大きな組織も必要です。しかし、夏休みという機会を使い学年、性別の枠を超えてわんぱく KIDS を楽しんでいる姿を見て、嬉しく思いました。子供たちと共に共同生活を送る中で改めて学ぶこともありました。常に安全面に配慮したり、予想することができない天候面でもその都度臨機応変に対応することができ自分達にとっても良い経験となりました。このような機会を作ってくださった、たくさんの方々には感謝いたします。ありがとうございました。

<グループリーダー：滝島重哉（大学2年）>

今回2班のリーダーを務めました、滝島重哉です。私はキッズとしての経験もなく、今回がわんぱく KIDS の初参加でした。当日の朝は不安や緊張を感じていたのですが、いざ始まると不安や緊張など感じないぐらいやる事が多く、目の前のことに必死でした。気付けば4泊5日は終わり、これを書いています。4泊5日という期間は1週間よりも短いはずなのに、家に帰った時は1か月ぶりに感じました。それぐらい、わんぱく KIDS は濃いものでした。

私の中で印象に残っているのは、4日目の夜に行ったキャンドルファイヤーです。4日間の余韻に浸っていると、班の子が泣いているのを見て、私も泣いてしまいました。リーダーとしてやらなきゃという張りつめていたものが崩れました。分からないことだらけでしたが、経験者の子たちが色々教えてくれ、班のみんながルールを守ってくれ、もう1人のリーダーに助けられ、ここまでやってこれたと思ひ、涙が止まりませんでした。本当に感謝しています。

このわんぱく KIDS で、子どもの健康管理のことや生活面のこと、予定変更の対応、リスクマネジメントなど、大人として子どもをみるうえで重要なことを多く学び、教員を目指す者として貴重な経験をすることができました。

今回の4泊5日は私自身にとって良い思い出になりました。参加した子どもたちの思い出になっていると思います。その思い出が大人になっても残り続けるものになってくれると私は嬉しい限りです。

<グループリーダー：剣持穂歌（高校3年）>

今年のわんぱく KIDS は宇佐美学園の改修工事等が無事終わり、山中湖ではなく、宇佐美学園での開催することが出来ました。

行きのバスではしりとりをしたりや KIDS 同士お話しをしたりと、KIDS みんなが初対面とは思えないほどの賑やかさでした。

新型コロナウイルス感染症の状況が変わりつつある中での開催でしたが、KIDS の顔を見て話すことができ、とても嬉しかったです。

1日目の初めてのプログラム川遊びではとても楽しく遊ぶことができました。

しかしながら2日目以降は台風直撃というハプニングがあり、本来海に行く予定が室内での工作やプールに変更になったり、3日目の山登りに行く予定が劇に変更になったりと本来の予定通りに進むことがなかなか出来ませんでした。劇では桃太郎、いくらなんでもいくらくん、おれはティラノサウルスだ、をそれぞれ班ごとにやりました。

桃太郎で使う桃やいくらくんの中に出てくる殿様のちょんまげなどの小道具等の道具を一から自分達で作らなければいけないので、画用紙やダンボールを切ったり貼ったりして小道具等を作成しました。作成期間が短く苦戦する子供もいましたが何とか完成し、本番では子供達それぞれが役になりきり劇は無事成功し、感動で少しうろつとしました。

最終日もあいにくの雨で、石垣山一夜城歴史公園に行く予定が、生命の星・地球博物館に変更になりました。博物館の中には大量の骨格標本や剥製の展示、天井が高いので、広い展示空間があり、恐竜の化石やサメの剥製などとても迫力がありました。4泊5日間の中でたくさんのハプニングがありましたが、とても充実しており、最後にはみんな笑顔で"楽しかった"という声が聞けてとても嬉しかったです。普段中央区では出来ないような体験を自然に囲まれた宇佐美学園で体験することが出来、とても良かったです。来年も無事に開催、参加出来る事を祈っています。また来年お会いしましょう～！

協賛

(株)ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ (株)建設技術研究所

物品協賛・協力

(株)オーガニックキッチン

(公社) 東京青年会議所 中央区委員会

天麩羅 天音

古屋法律事務所

富江 裕子

永塚パートナーズ法律事務所

(株)サヨカ

(株)トミタ

木嶋 正佳

大森造園建設(株)

(株)日本ワークサービス

下目黒歯科内科

高松建設(株)

(株)セントラルエステート

小坂こども元気クリニック

(株)ネオ・コミュニケーションズ

タチバナアーツ管理(株)

(株)小川商会

半澤 勝己

(株)マウンテン・ワン

(株)サプル

飯塚 宜広

前田 千晴

桑原 宏史

(株)ダヴィンチ

朋和商事(株)

(株)中央コミュニティー

(※順不同 敬称略)

<当報告書に関するお問い合わせ先>

特定非営利活動法人 シンク・イー

E-mail : 2023wanpakukids@gmail.com